Express5800/MW300g-,MW500g-
WEBMAIL-EXT 100Uライセンス

UL4015-202

セットアップカード

ごあいさつ

　　このたびは、Express5800/MW300g-,MW500g- WEBMAIL-EXT 100Uライセンス（以下、WEBMAIL-EXTライセンス）をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

　本書は、お買い上げいただいたセットの内容の確認、セットアップの内容を中心に構成されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。

目次

１章　セットアップの準備

本製品は以下によって構成されています。

・Express5800/MW300g-,MW500g- WEBMAIL-EXT 100Uライセンスシート
・Express5800/MW300g-,MW500g- WEBMAIL-EXT 100Uライセンス　セットアップカード（本書）
・Express5800/MW300g-,MW500g- WEBMAIL-EXT 100Uライセンス　ソフトウェアのご使用条件

本製品をご使用になるためには、まず、お手持ちのExpress5800/MW300g以降もしくはMW500g以降(以下、MWサーバ本体と略します)に、本製品をセットアップしていただく必要があります。

本製品のセットアップには、以下の環境が必要になります。

(1) MWサーバ本体
(2) MWサーバ本体にブラウザ経由でアクセスできるクライアントPC

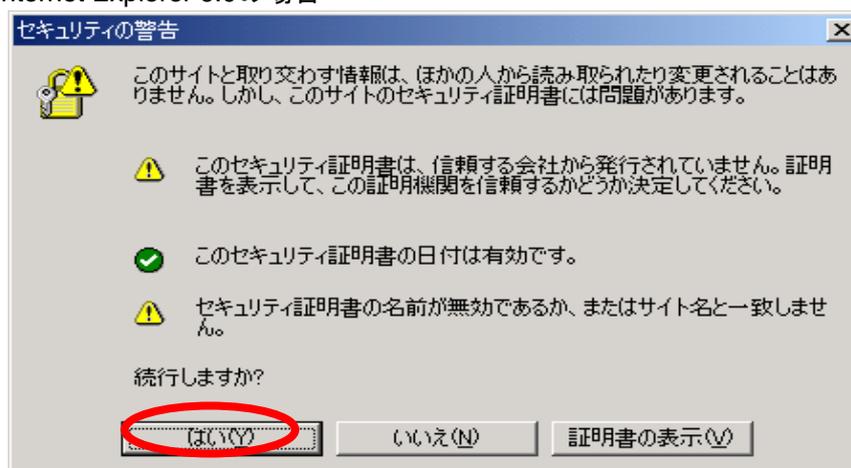
※MWサーバ本体へは、Management Consoleを使用してアクセスします。
※ご使用になるブラウザは、Microsoft® Internet Explorer 6.0 sp2およびInternet Explorer 7.0 sp1 以上を推奨します。

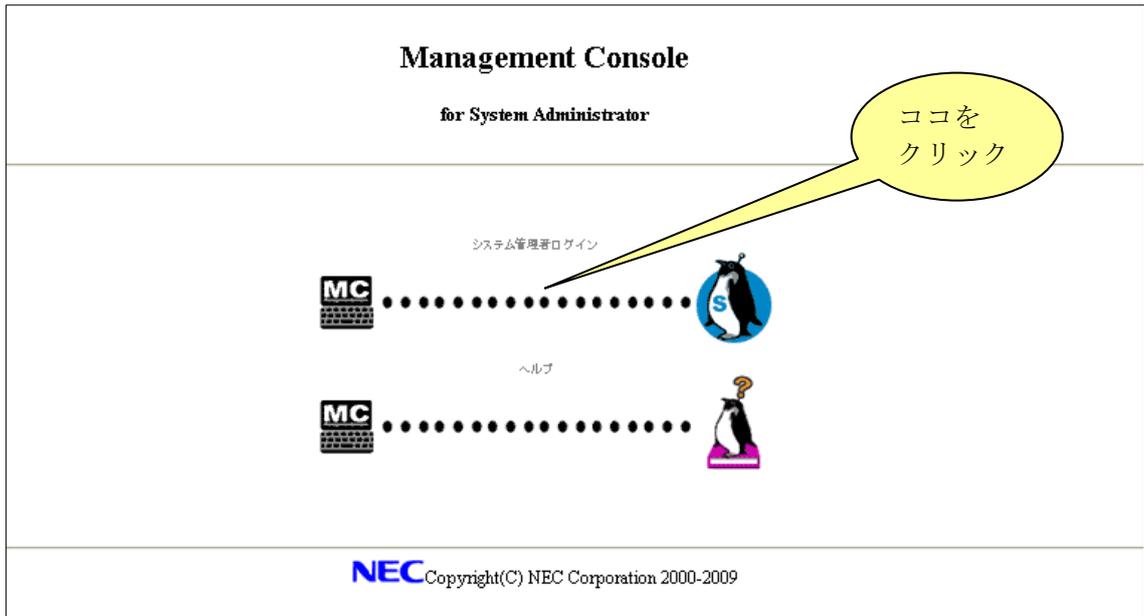
２章　WEBMAIL-EXT ライセンスのインストール方法

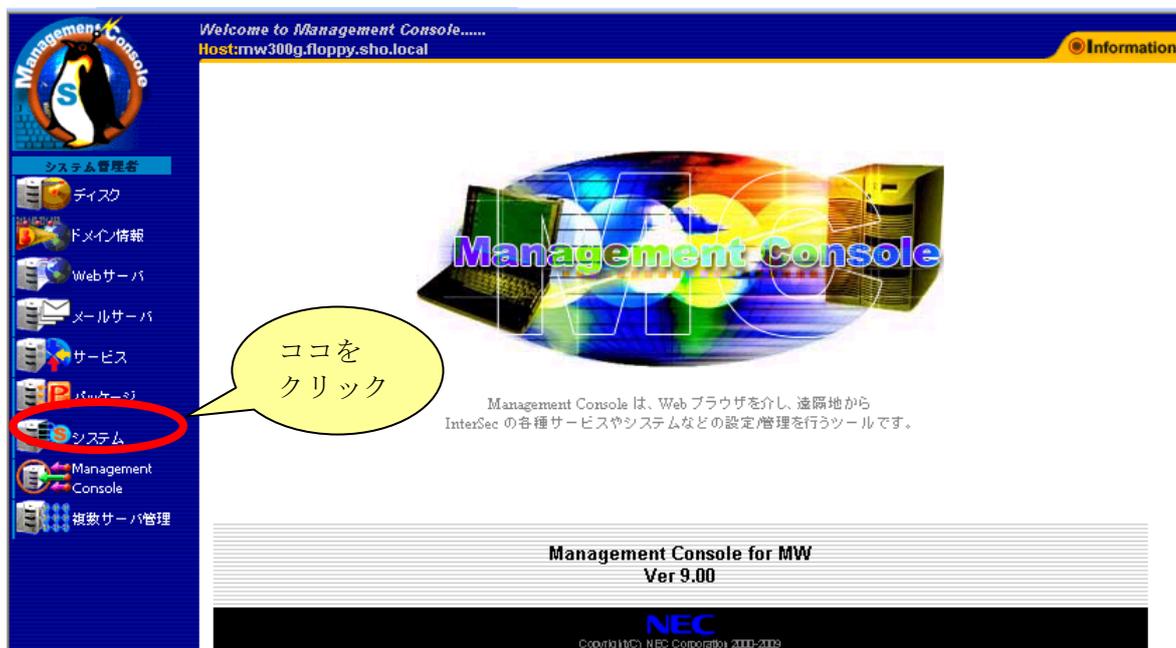
この章では本製品のインストール方法を記します。

(1) WEBMAIL-EXTライセンスを、MWサーバ本体にインストールします。
　ブラウザからManagement Consoleを使ってMWサーバ本体へアクセスします。セキュリティレベルの選択によっては、アクセスすると以下の画面が表示されますので、Internet Explorer 7.0を利用されている場合は、このサイトの閲覧を「続行する」をクリックしてください。
Internet Explorer 6.0を利用されている場合は、[はい]をクリックして先に進んでください。

Internet Explorer 7.0の場合

Internet Explorer 6.0の場合

「セキュリティの警告」画面は、Management Consoleへのアクセス方法にセキュアな設定(https)でアクセスした時のみ表示されます。httpでアクセスする場合は表示されません。
Management Consoleへのアクセス方法の変更については、MWサーバ本体のユーザーズガイド（ソフトウェア編）をご参照ください。

(2) Management Consoleのトップページが表示されます。
[システム管理者ログイン]をクリックして、ログイン画面を表示させてください。

(3) MWサーバ本体にログインするためのダイアログボックスが表示されます。
正しいユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。

(4) ログイン完了後、Management Consoleの各種設定を行うためのページが表示されます。[システム]をクリックしてください。

(5) システム画面が表示されます。[ライセンス管理]をクリックしてください。

(6) [ライセンス管理画面]が表示されます。WEBMAIL-EXT 100Uライセンスの[インストール]をクリックしてください。

(7) [WEBMAIL-EXT 100Uライセンス]の認証画面が表示されます。本製品に添付された「Express5800/MW300g-,MW500g- WEBMAIL-EXT 100U　ライセンスシート」に記載されているライセンス認証番号を入力し、入力内容を確認した後、[認証送信]をクリックしてください。

(8) WEBMAIL-EXTライセンスのライセンスが正常に認証されると、以下の画面が表示されます

以上でインストールは完了です。
引き続き、次項を参考にサービスの切り替えを実施してください。

【参考】インストールに失敗した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。[戻る]ボタンを押して、ライセンス認証番号を再度確認して、手順(5)からやり直してください

・ライセンス認証番号の誤り
ライセンス認証番号が入力誤っている場合に表示されます。入力したライセンス認証番号をお確かめください。

■ 認証処理失敗

認証番号をもう一度確認してください。

戻る

・認証失敗
ライセンス認証番号を重複して使用した場合に表示されます。

■ 認証失敗

この認証番号は既に使われています。

戻る

・ライセンス数超過
許可しているユーザ数以上をライセンス認証で認証登録した場合に表示されます。

■ 認証処理失敗

登録可能なライセンス数を超えています。

戻る

最大登録可能ライセンス数
MW300g(以降)　最大 5 ライセンス
MW500g(以降)　最大 9 ライセンス

(9) サービス画面の「WEBMAIL-Xサーバ（webmail-httpd）」をクリックしてください。

【参考】
MWサーバ本体は、WEBMAILサーバ機能として「WEBMAIL-EXT」と「WEBMAIL-X」を選択して使用できます。
初期状態では「WEBMAIL-X」がデフォルト設定のため、「WEBMAIL-EXT」を使用するためには、サービスを切り替える必要があります。

(10)WEBMAILサーバの選択でWEBMAILサービスを「WEBMAIL-EXT」に変更する場合は、「WEBMAIL-EXTを使用する」を選択し［設定］をクリックしてください。
切り替え後の、詳細な設定やWEBMAILの使用方法は、ユーザーズガイド(ソフトウェア編)の「WEBMAILサーバ機能」を参照してください。

３章　WEBMAIL-EXTライセンスのライセンス状況の確認方法

WEBMAIL-EXT ライセンスのライセンス状況の確認方法について説明します。

(1) インストール方法と同様の手順で、Management Consoleから[システム]の[ライセンス管理]をクリックしてください。

(2) WEBMAIL-EXT ライセンスがインストールされている場合、状態の欄に追加したライセンスをカウントアップして表示します。
以下は、100ユーザを追加した表示の例となります。

■ライセンス管理

ライセンス製品名	状態	操作	
全メール保存ライセンス	インストールされていません	インストール	アンインストール
DNS/DHCP強化オプション	インストールされていません	インストール	アンインストール
二重化構成構築キット	インストールされていません	インストール	アンインストール
WEBMAIL-EXT 100Uライセンス	ライセンス数:1 (同時接続ユーザ数:101)	インストール	アンインストール

４章　WEBMAIL-EXT ライセンスのアンインストール方法

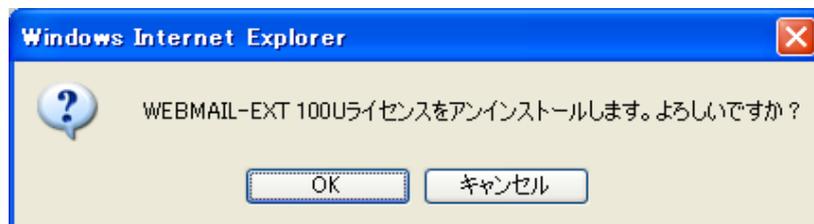
WEBMAIL-EXTライセンスのアンインストール方法について説明します。

(1) Management Consoleから[システム] 画面から[ライセンス管理]をクリックしてください。

(2) WEBMAIL-EXT ライセンスがインストールされている場合、以下の画面が表示されます。

■ライセンス管理

ライセンス製品名	状態	操作	
全メール保存ライセンス	インストールされていません	インストール	アンインストール
DNS/DHCP強化オプション	インストールされていません	インストール	アンインストール
二重化構成構築キット	インストールされていません	インストール	アンインストール
WEBMAIL-EXT 100Uライセンス	ライセンス数:1 (同時接続ユーザ数:101)	インストール	アンインストール

(3) ［アンインストール］をクリックします。以下の画面が表示されますので［ＯＫ］をクリックしてください。

(4) 正常終了すると以下の画面が表示されます。

以上で、アンインストールは完了です。

５章　注意事項

(1) WEBMAIL-EXT ライセンスは、MW300g(以降) １台につき最大５本までインストール可能です。また、MW500g(以降) １台につき最大 9 本までインストール可能です。

〇最大同時ログイン数（最大追加可能ライセンス数）

MW300g(以降)　 501 (5 ライセンス)

MW500g(以降)　1001 (9 ライセンス)

(2) フェィルオーバクラスタ構成の場合は、クラスタを構成する MW サーバ２台それぞれに対して、WEBMAIL-EXT ライセンスを必要数分購入する必要があります。

(3) MW500g(以降)では、100 ユーザライセンスがあらかじめ認証された状態で出荷されています。